

医療施設長 様

鹿児島市医師会臨床検査センター

## 新規実施項目のお知らせ

日頃より当臨床検査センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。  
この度、下記の検査項目におきまして新たな検査項目の受託開始の連絡がありましたので  
ご案内いたします。

今後とも当臨床検査センターをご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

### 記

■ 実施日 2024年 6月 24日(月)

■ 新規受託項目

項目 コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2548500 (5993)	サイトケラチン 18フラグメント (CK-18F) 5D326-0000-023-023	血清 0.3	生化学 A	凍 結	3~10	194 ※4	EIA	260未満 (カットオフ 値) (U/L)	非アルコール 性脂肪 肝炎 (NASH)の 診断補助 のためのカ ットオフ値 は260U/L です。

※4:生化学的検査(I)判断料

※別途項目コードのご案内を送付いたします。ご施設様でご利用の電子カルテメーカー様へ対応いた  
くよう、ご連絡をお願いいたします。

《ご案内》

その他、臨床検査センターに対するお問合せやご意見等ございましたら、下記までご連絡ください。

連絡先:鹿児島市医師会臨床検査センター(099)226-8827

## ● サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)

本検査は予後不良なNASHの鑑別および侵襲性を伴う肝生検の絞り込みに有用とされます。

非アルコール性脂肪性肝疾患(Nonalcoholic Fatty Liver Disease:NAFLD)は、アルコールやウイルス、薬物などを原因としない脂肪肝の総称で、病態がほとんど進行しない非アルコール性脂肪肝(Nonalcoholic Fatty Liver:NAFL)と進行性の非アルコール性脂肪肝炎(Nonalcoholic Steatohepatitis:NASH)があります。

肝細胞のアポトーシスにより断片化され、血中に放出されるサイトケラチン18フラグメント(Cytokeratin 18 fragment:CK-18F)は、健常者やNAFLと比較してNASHで有意に高値となることやNASHの特徴である風船様変性や炎症を反映していることが報告されています。

本検査は予後不良なNASHの鑑別および侵襲性を伴う肝生検の絞り込みに有用とされます。

### ▼疾患との関連

非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)  
非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)

### ▼関連する主な検査項目

IV型コラーゲン・7S、オートタキシン  
Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGi)  
プロコラーゲンIIIペプチド(P-III-P)

### ▼検査要項

検査項目名	サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)
項目コード	2548500 (5993)
検体量	血清 0.3 mL
容器	生化学 A
保存方法	必ず凍結保存してください
所要日数	3~10 日
検査方法	EIA
基準値(単位)	260未満(カットオフ値) (U/L)
報告範囲(単位)	125未満、125~99900000(U/L)
桁数	有効3桁、整数8桁、小数0桁
検査実施料	<b>12</b> 194点 (「D007」血液化学検査「48」) 令和6年診療報酬改定に伴う新区分:「D007」血液化学検査「50」
判断料	144点(生化学的検査(I)判断料)
備考	非アルコール性脂肪肝炎(NASH)の診断補助のためのカットオフ値は260U/Lです。

①「サイトケラチン18フラグメント(CK-18F)」は、1ステップのサンドイッチ法を用いた酵素免疫測定法により、非アルコール性脂肪性肝疾患の患者(疑われる患者を含む。)に対して、非アルコール性脂肪性肝炎の診断補助を目的に実施した場合は、「オートタキシン」を準用して算定する。

②「プロコラーゲンIIIペプチド(P-III-P)」、「IV型コラーゲン」、「IV型コラーゲン・7S」、「ヒアルロン酸」、「Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体」又は「オートタキシン」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

## ●参考文献

Tada T, et al: Eur J Gastroenterol Hepatol 33(11):1451~1458, 2021.

(臨床的意義参考文献)